

# 第33回 鹿児島県柔道選手権大会 (第65回九州柔道選手権大会鹿児島県予選) 実施要項

- 1 主催 公益財団法人鹿児島県柔道会
- 2 後援 鹿児島県教育委員会 公益財団法人鹿児島県スポーツ協会  
鹿児島市 鹿児島市教育委員会 南日本新聞社
- 3 期 日 令和5年2月5日(日)  
※ 開 館 8時30分  
※ 審判会議 9時30分  
※ 開会式 10時00分
- 4 会 場 西原商会(鹿児島アリーナ) 武道場
- 5 出場資格  
(1) 県内で令和4年度の全日本柔道連盟登録済の者。  
(2) 下記に示した人数以下及び主催者が特に認めた者とする。
  - ① 各地区 2名以内とする。なお、下記の②～⑦に所属する者は除く。
  - ② 県警察 6名以内
  - ③ 鹿児島刑務所 4名以内
  - ④ 国分自衛隊 4名以内
  - ⑤ 鹿屋体育大学 6名以内
  - ⑥ 各大学 2名以内
  - ⑦ 高体連 若干名
- 6 競技規則  
(1) 国際柔道連盟試合審判規定で行う。  
(2) 試合時間は4分間とする。  
(3) 優勢勝ちの判定基準は、全日本選手権、九州選手権に準ずる。  
(4) 試合の方法は、トーナメント方式とする。
- 7 組 合 せ 主催者において決定する。
- 8 表 彰  
(1) 第1位から第5位までを表彰する。  
(第3位決定戦は行わない。第5位決定戦を行う。)  
(2) 長年出場者を表彰する。
- 9 参加料 2,000円(大会当日、受付で納入する。)
- 10 参加申込み 令和4年12月12日(月)必着で申し込みすること。
- 11 その他  
(1) 脳震盪対応について  
ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診療を受け、出場の許可を得る。  
イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
(2) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療関係において、的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もある。  
(3) 上位4名は、3月5日(日)に福岡武道館で行われる第65回九州柔道選手権大会の出場権を得る。但し、特別な事由がある場合は、この限りではない。  
(4) 出場者は、「スポーツ安全保険」等に加入しており、健康であること。  
(5) 試合による負傷については、試合場での応急処置のみとする。  
(6) ゼッケンは、必ず対角線にも縫い付けること。  
(7) 当日は駐車場の混雑が予想されるので、できるだけ公共交通機関を利用すること。  
(8) 個人で靴を管理するために、各自ビニール袋を準備すること。  
(9) 新型コロナウイルス感染を徹底し、同意書及び健康チェック表を提出すること。

# 第25回 鹿児島県女子柔道選手権大会 (第33回九州女子柔道選手権大会鹿児島県予選) 実施要項

- 1 主催 公益財団法人鹿児島県柔道会
- 2 後援 鹿児島県教育委員会 公益財団法人鹿児島県スポーツ協会  
鹿児島市 鹿児島市教育委員会 南日本新聞社
- 3 期日 令和5年2月5日(日)  
※ 開館 8時30分  
※ 審判会議 9時30分  
※ 開会式 10時00分
- 4 会場 西原商会(鹿児島アリーナ) 武道場
- 5 出場資格
  - (1) 県内で令和4年度の全日本柔道連盟登録済の者
  - (2) 下記に示した人数以下及び主催者が特に認めた者とする。
    - ① 各地区 1名(中・高校生は除く)
    - ② 鹿屋体育大学 6名以内
    - ③ 各大学 2名以内
    - ④ 高体連 6名以内
- 6 競技規則
  - (1) 国際柔道連盟試合審判規定で行う。
  - (2) 試合時間は4分間とする。
  - (3) 優勢勝ちの判定基準は、全日本選手権、九州選手権に準ずる。
  - (4) 試合の方法は、トーナメント方式とする。
- 7 組合せ 主催者において決定する。
- 8 表彰
  - (1) 第1位から第3位までを表彰する。  
(第3位決定戦は行う。)
  - (2) 長年出場者を表彰する。
- 9 参加料 2,000円(大会当日、受付で納入する)
- 10 参加申込み 令和4年12月12日(月)必着で申し込みすること。
- 11 その他
  - (1) 脳震盪対応について  
ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診療を受け、出場の許可を得る。  
イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
  - (2) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療関係において、的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もある。
  - (3) 上位2名は、3月5日(日)に福岡武道館で行われる第33回九州女子柔道選手権大会の出場権を得る。
  - (4) 出場者は、「スポーツ安全保険」等に参加しており、健康であること。
  - (5) 試合による負傷については、試合場での応急処置のみとする。
  - (6) ゼッケンは、必ず対角線にも縫い付けること。
  - (7) 当日は駐車場の混雑が予想されるので、できるだけ公共交通機関を利用すること。
  - (8) 個人で靴を管理するために、各自ビニール袋を準備すること。
  - (9) 新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、同意書及び健康チェック表を提出すること。